

少年

第461号(1) 令和6年8月(葉月)発行



山梨県警察本部
生活安全部 人身安全・少年課
甲府市丸の内1-6-1
055-221-0110 内線3082
少年対策官 島口浩二

～おもんばかり～

8月。過去の出来事や先祖とのつながりを思い”いまの自分”が意識される頃。人は誰しも、かけがえのない存在であるということ強く感じさせられるとき。



学校が夏季休業期間であるこの時期、インターハイ（高校総体）や夏の甲子園大会、全国中学校体育大会など、各地で様々な年代のスポーツ大会が開催されている。特に今夏は、パリ2024オリンピックが開催されており、その様子がテレビや新聞などのマスメディアによって連日伝えられている。普段はあまり見ることのない競技スポーツの熱い闘いを目にして、各競技の魅力を堪能するとともに、スポーツの素晴らしさを実感した人も多いのではないだろうか。

「競技スポーツは人類の創造的な文化活動の一つである（文科省）」と言われている。確かに、トレーニングを重ねて技術が向上してもさらに高みを目指して取り組んだ覚えがある。次第に、自らの技術を磨くことだけが重要ではないことに気づき、ベストコンディションで試合に臨むための身体づくりや、コミュニケーション能力、困難な状況においてもあきらめない精神力、そしてその状況を改善するための問題解決能力など、多くを学ぶことができた。スポーツをすることが、自らの人間力を高めることにつながっていったように思う。

スポーツをするのは、何かのためでも誰かのためでもなく、純粹にその競技が好きだからであろう。好きだから高みを目指して技術を磨き、自分の可能性を極限まで追求するのである。その過程で、多くの人に支えられ応援されてきたからいまの自分があることに気づく。ゆえに、支えてくれた人に感謝の気持ちを伝えたい応援してくれた人に喜んでもらいたいといった、”誰かのために”という思いが芽生えるのは自然なことなのかもしれない。それだけ人からの励ましというものは、人間を強くしてくれる力があるものである。

勝利を追い求めて成し遂げられた時の喜びや、努力をしたが満足できない結果となった時の悔しさを、一度でも味わったことがあるならわかるだろう。もし経験したことがなくとも、その心情をおもんばかりることができる人間でありたい。勝って涙を流しながら全身で喜びを表現する姿でも、負けて大声で泣き叫んで感情を爆発させる姿であろうとも、そのどれもが必死に取り組んできたからこそなのだと。誰でもないその人のかけがえのない瞬間だからこそなのだと。

この夏、数々のスポーツに心が動かされた。味わうことが少なくなった心の震えを、久しぶりに感じる機会を得られた。観戦している人にはわからない、その舞台に立った人にしかわからない世界があるだろう。自らの可能性を追求したすべての競技者に敬意を表するとともに、がんばった人が傷つけられることのないような世の中であれと、ただただ願うばかりである。

人類の起源

人類の起源はアフリカにあると言われている。形質人類学によると、地球上の人の祖先はアフリカで誕生し、そこから世界中に広がっていったとする「アフリカ単一起源説」が主流である（以前は、アジアやヨーロッパに拡散していた原人が、その地で進化した結果それぞれの祖先になったという「他地域進化説」が主流であったようである）。その説によると、人類（ホモ・サピエンス）は20万年程前（諸説あり）のアフリカの地に共通の祖先をもち、その後世界の各地に移り住んだのである。そして、各地の環境や気候などの違いによってそれぞれに進化を遂げてきたということである。つまり人類は、いまでこそ肌の色や体格などの異なる形質をもっているものの、人としての起源は同じなのである。こうした歴史を知ることや物事を学び知識を得ていくことが、差別や偏見を持つことなく互いをリスペクトしあえる、そんな人類になっていくためのひとつのきっかけなのかもしれない。

県下非行少年等・補導状況 上半期のまとめ

令和6年1月～6月までの県下非行少年等検挙・補導状況について、「非行少年」は54人であり昨年同期に比べ7人増加しています。そのうち「刑法犯少年」は38人で、昨年同期に比べ1人増加。「特別法犯少年」は5人で、昨年同期に比べ3人増加となっています。また「不良行為少年」は1,265人で、昨年より339人減少しています。

- 刑法犯少年・・・凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯、知能犯、風俗犯、その他の主に刑法で規定されている罪を犯した少年
- 特別法犯少年・・・大麻取締法違反、軽犯罪法違反など刑法犯以外の罪を犯した少年
- 不良行為少年・・・飲酒、喫煙、薬物乱用、深夜はいかい、その他自己又は他人の徳性を害する行為をしている少年

「刑法犯少年」 38人の学校・職業別

※中学生・高校生が半数を占める。

小学生	0人 (0.0%)	中学生	9人 (23.7%)
高校生	11人 (28.9%)	有職少年	10人 (26.3%)
無職少年	4人 (10.5%)	その他	4人 (10.5%)

「不良行為少年」 1,265人の学校・職業別

※中学生・高校生が半数以上を占める。

小学生以下	17人 (1.3%)	中学生	239人 (18.9%)
高校生	464人 (36.7%)	大学生	24人 (1.9%)
その他学生	36人 (2.8%)	有職少年	251人 (19.8%)
無職少年	234人 (18.5%)		

※主な不良行為

喫煙 444人、深夜はいかい 326人 であり「不良行為少年」の60.9%を占める。

声掛け等事案について 上半期のまとめ

県内における子供と女性に対する声掛け等事案は、令和6年上半期(1月～6月)の発生件数が151件でした。昨年同期に比べ全体では24件減少していますが、【声掛け】【わいせつ的】【暴行的】が微増しています。例年、夏休み明けから秋口にかけて増加する傾向があります。今後もさらなる啓発とともに、地域総がかりによる「見守り」が必要です。

「声掛け等事案」とは

- 声掛け行為 : 卑わいな言葉、誘惑する言葉、乱暴な言葉などを掛ける行為
- つきまとい行為 : つきまとい、立ちふさがり、待ち伏せするなどの行為
- わいせつ的行為 : 抱きつき、触れるほか、のぞき見、盗撮、身体を露出するなどの行為
- 暴行的行為 : 手、足、衣服等をつかむ、叩く、引っ張る、物を投げつけるなどの行為
- 不審者等 : 上記4つの行為に該当しない行為で、容姿を写真撮影する、見つめるなどの不審な行為

防犯対策

- 1 なるべく夜間(夕方以降)の一人歩きはやめる。やむを得ない場合には、遠回りでも幹線道路など、明るくて広い道を通る。
- 2 昼間でも人通りのある道、見通しのよい道を通る。
- 3 人や車の多い通りから裏通りへ入る時は、後ろからついてくる人や車がないか確認する。
- 4 人や車とすれ違う時には、相手が手を出しても、触れられない間隔を確保する。
- 5 スマホを使用しながら、またはヘッドホンで音楽を聴きながらの歩行は、周囲への注意力が散漫になるので避ける。
- 6 帰宅時間が遅くなる場合は、家族に迎えにきてもらうようにする。

不審に思ったら、迷わず110番を!

発行番号は昭和61年初号からの通算番号です。

http://www.pref.yamanashi.jp/police/p_syonen/shonenkoho.html